

## 平成21年度消防防災GISサポーター事業報告書

自治体名	浜田市		
所属部課	総務部 総務課 防災交通係	役職	主事
氏名	古城 崇浩		

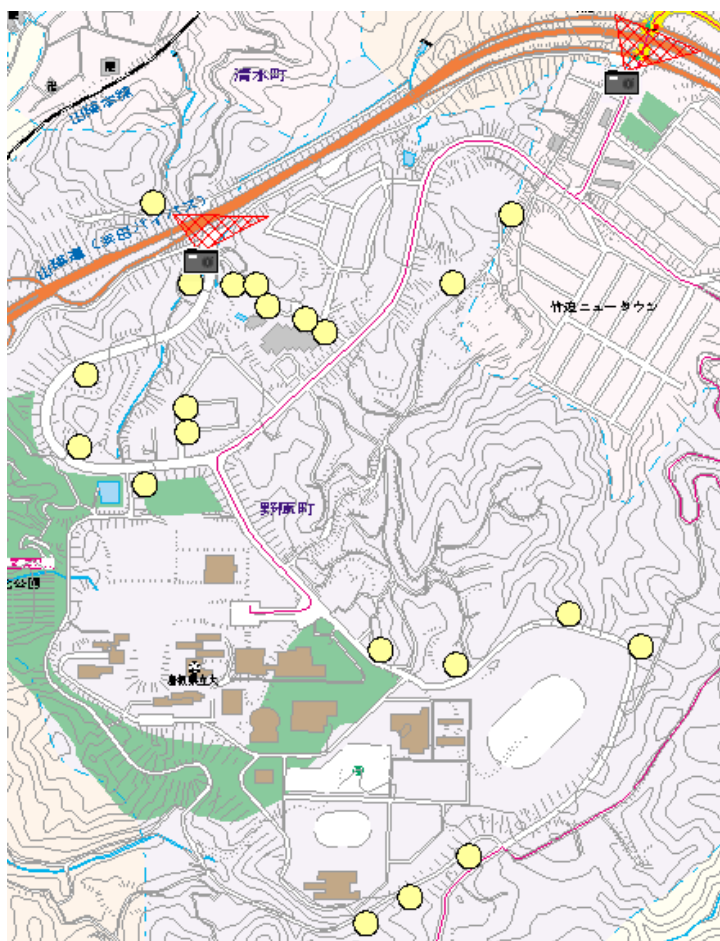
活用内容	防犯業務におけるGISデータの活用
------	-------------------

### ■経緯

- ・ 2009. 10. 26で当市において『女子大学生死体遺棄等事件』の発生
- ・ 事件後、防犯に関する各種データの共有について当消防防災GISを利用し実施した

### ■防犯業務における活用事例

- ・ 新規照明灯、街路灯の設置箇所を入力
- ・ 防犯カメラ設置候補地等の入力
- ・ 町内における危険箇所（暗がり等）の把握
- ・ 通学路の危険箇所の把握



## 効 果

- ・ 関係課・各支所との各種情報の共有化
- ・ 情報の整理が容易にできる
- ・ マスコミ対応に有効

## 今後の課題

- ・ 誰もが入力できる体制作り（マニュアルの作成）
- ・ インターネット関連機能への不具合が生じたことがあった
- ・ 自治体としてのGISの活用の方向性を示すこと
- ・ 当システムの普及啓発

## 本GISに期待すること

- ・ 上記課題にも挙げたように、誰もが利用（=入力）できるようなマニュアルの作成
- ・ 多くの自治体での利用促進
- ・ 消防防災GISサポーター制度については、システム操作能力の向上、システムの普及啓発  
また、全国の防災担当者との意見交換等、とても充実した制度だと感じます  
今後も当制度を活用いただきたいと思います  
関係者のみなさま、1年間本当にありがとうございました

# 平成21年度 消防防災GISサポーター報告会

[平成22年2月1日(月)]

浜田市役所 総務部 総務課  
防災交通係 古城 崇浩

## 島根県の紹介



- 面積:6,707km<sup>2</sup>  
※全国16位(H17.10.1)
- 人口:742,223人  
※全国46位(H17.10.1)
- 世帯数:260,791世帯  
※全国46位(H17.3.31)
- 65歳以上の人口割合:  
26.8%  
※全国1位(H16.10.1)

# 浜田市の紹介



## 浜田市の紹介・特徴

- 面積: 689.61km<sup>2</sup> (県内第2位)
- 人口: 60,630人 (平成22年1月1日)
- 世帯数: 26,566世帯 (平成22年1月1日)
- ダム: 6基 (浜田・周布川・大長見・長見・御部・木都賀)
- 貿易港: 2港 (浜田港、三隅港)
- 高速道路: 浜田道
- 過去の大規模災害: 昭和58年災害、昭和63年災害

## 第二浜田ダム完成予想図



## 浜田市(風景)



# 島根あさひ社会復帰促進センター



- PFI手法を活用し、施設的设计、建築及び運営の一部を民間事業者に委託して運営される刑事施設



## 消防防災GISとの出会い

---

- 平成20年度、財団法人消防科学総合センターによる「災害対策本部図上演習訓練」の実施（平成20年6月27日 10:00～15:00）
- 訓練目的
  - ①情報の収集（災害イメージの醸成、状況予測）
  - ②情報の整理（消防防災GISへの登録）
  - ③情報の共有（消防防災GISによる情報共有）

## 訓練の目的・概要

---

- 災害対策本部において、特に重要となる被害情報等の収集・整理・共有を消防防災GISを活用し対処する
- 職員初動マニュアルによる班編成において、情報の入力、整理、共有を行う
- 班毎に対策を検討し発表、意見交換
- 検証、講評

# 訓練の様子(No. 1)



# 訓練の様子(No. 2)





## 訓練の様子(No. 3)



## 消防防災GISの活用目的

- 本庁・支所・消防本部間の災害情報の共有  
⇒ 災害時の情報の整理、管理  
(例) 被害状況、対応状況等
- ⇒ 情報に基づき、適切な意思決定  
(例) 避難勧告、避難指示の発令
- 防災【防犯】業務での活用  
⇒ 情報の共有

# なぜ？防犯業務での活用？

---

2009.10.26 浜田市において  
『女子大学生死体遺棄等事件』の発生

## 事件の主な経過

---

- 10月26日：午後9時16分頃 アルバイト先を退店
  - 10月28日：家族が浜田署に捜索願を提出
  - 11月 2日：浜田署が公開捜査を開始
  - 11月 6日：広島県臥龍山で遺体の一部を発見
  - 11月中：島根・広島両県警中国、近畿管区機動隊、中部管区機動隊による大規模捜査を実施
- ↓
- 現在も懸命な捜査が続いています

## 浜田市の対応

- 『浜田市危機管理警戒本部会議』を実施(11/7)
- 大学事務局との対応協議
- 島根県との対応協議
- 大学周辺の安全確保対策
- 安心して帰宅できる体制づくり
- 安全安心まちづくりに関すること

## 消防防災GISの具体的な活用

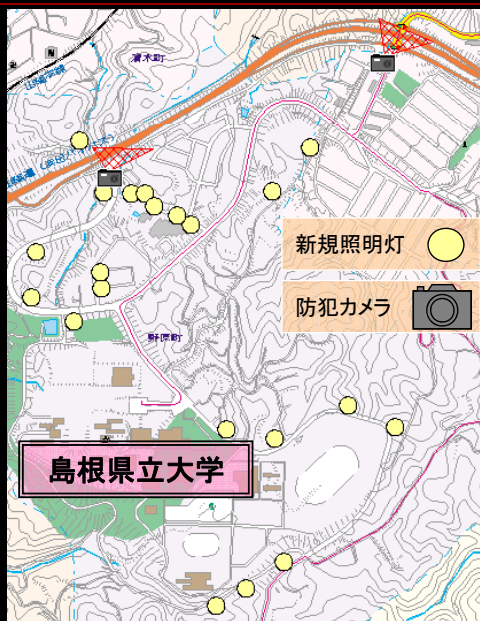
- 浜田市犯罪のない安全で安心なまちづくり庁内推進会議[環境整備部]において『消防防災GIS』の活用の提案説明を実施

- **活用内容**

- ①市内照明灯・街路灯の確認
- ②通学路の危険箇所の把握
- ③防犯カメラ設置場所の検討



# 消防防災GISを活用しての効果



## ■ 目的

- ① 関係課との情報共有
- ② 共有情報をもとに対応を検討

## ■ 効果

- ① 本庁・支所ならびに関係課との情報共有が可能
- ② 共有データをもとに適時適切な対応が可能

# 消防防災GISを活用して

## ■ メリット

- ① 情報の集約・共有が容易
- ② 広大な面積及び地理的要因等を含めても、災害対策本部で迅速に情報収集が可能
- ③ 情報の整理が容易
- ④ 事案に対するすばやい対応の検討が可能

## ■ デメリット

- ① 関係部署で入力担当者の育成
- ② 災害時におけるシステム維持(停電対応等)

## まとめ(今後について)

- 今後は、『防災』『防犯』『交通』といった総合的なデータ管理を検討
- 定期的な訓練、講習を行うことにより入力時間の短縮を目指す＝入力担当者の育成
- 誰もが活用できる体制づくり

